

災害復旧費につきましては、支出はございませんでした。

次に次のページ、12款公債費の支出済額は18億2,292万9,720円で、予算執行率は99.9%となりました。歳出総額に占める構成比率は16.9%であり、前年度対比では1億953万1,353円、6.4%の増となっております。

最後に128ページの13款予備費でございますが、他費目への充用はございませんでした。

以上から歳出合計は108億246万4,373円で、全体の予算執行率は96.5%となりました。前年度対比の伸び率は1.5%、金額では1億5,758万1,103円増加しております。歳入合計から歳出合計を差し引いた2億4,798万6,105円が残額となりました。また、実質収支額は翌年度に繰り越すべき財源の212万3,736円を差し引いた2億4,586万2,369円となって、決算を終了したところでございます。なお、単年度の収支額は1,306万879円の黒字となっております。

以上が平成20年度一般会計歳入歳出決算の計数等の概要でございますが、細部につきましてはご質問により担当課長等からご説明申し上げますので、よろしくご審査くださいますようお願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成20年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算並びに平成20年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の3件について。

宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 おはようございます。

私の方から平成21年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

それでは、決算書7ページをお開きいただきたいと思っております。歳入合計でございますが、収入済額は26億1,676万9,809円で調定額に対する

収入率は90.9%でございました。

次のページ、8ページをお開きいただきたいと思っております。歳出合計額は25億6,181万5,866円で、前年度より3.9%の減額となっております。予算現額に対する執行率は86%でございます。

単年度収支は、歳入合計から基金繰入金と繰越額を差し引いた額と歳出から基金と積立金を差し引いた額を比較するものでございますが、20年度の単年度収支はマイナスでありまして、1億221万5,282円の赤字でございました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、129ページをお開きいただきたいと思っております。

歳入でございますが、1款国民健康保険税は、調定額8億9,866万1,853円に対しまして、収入済額は6億3,658万2,871円で、歳入総額の24.3%を占め、前年度比21.9%の減となっております。

1項1目一般被保険者国民健康保険税の収入済額は5億6,243万9,024円で、75歳以上の方が後期高齢者医療制度への移行と世界的な経済不況によりまして前年度に比べ、10.1%の減額となりました。2目退職被保険者等国民健康保険税の収入済額は7,414万3,847円で後期高齢者医療制度への影響を大きく受けまして、前年度比61.0%の大幅な減となっております。

次のページ、130ページをお開きいただきたいと思っております。2款使用料及び手数料は、調定額、収入済額とも43万9,760円で、保険税の督促手数料でございます。

3款国庫支出金は、5億8,975万2,598円で、歳入総額の22.5%を占めており、前年度比13.2%の減でございます。

1項1目療養給付費等負担金4億3,560万4,361円で、前年度より11.4%減少しております。2目の高額医療費共同事業負担金は980万3,237円であります。これは、80万円を超える高額医療費について山形県全体の共同事業とし

+

て対応する制度でございまして、高額医療費共同事業拠出金の4分の1でございます。3目特定健康診査等負担金につきましては、20年度から始められたものでありまして、172万4,000円で皆増でございます。

2項1目財政調整交付金につきましては、1億4,262万1,000円で、市町村の財政力の不均衡を調整するために交付をいただいているものでございます。その他、特別調整交付金として収納率向上特別対策事業に対しまして補助をいただいたものです。

4款療養給付費交付金は、1億8,971万3,000円で、歳入総額の7.3%を占めております。内訳は、1項1目療養給付費交付金は支払基金から退職被保険者の医療費分としていただいたもので、また2目の退職被保険者に係る交付金は退職被保険者に係る老人保健拠出金プラス後期高齢者支援金相当額であります。

5款前期高齢者交付金は5億8,734万9,093円で20年度から始められたものでございまして、皆増であります。

6款県支出金、1項1目高額医療費共同事業負担金は980万3,237円で、国庫支出金の共同事業負担金と同額でございます。2目特定健康診査等負担金は、これにつきましても20年度から始められたもので182万3,000円で皆増であります。2項1目財政調整基金は、療養給付費の約7%、8,919万5,000円でございます。

次のページをお開きお願いします。7款1項共同事業交付金は、国保連合会より交付されたもので、1項1目高額医療費共同事業交付金は2,732万278円で80万円を超える高額医療費の59%が交付されるものです。2目保険財政共同安定化事業交付金は2億1,434万3,202円で、30万円を超え80万円未満の高額医療費に対する交付金でございます。

8款財産収入は112万4,584円で、給付基金積立金利子でございます。

9款繰入金は1億209万3,293円で、歳入総額の3.9%を占め、1項1目一般会計繰入金は事務費や財政安定化支援事業、出産育児一時金及び保険税軽減相当分として繰り入れたものでございます。

次のページでございしますが、10款繰越金は1億5,829万3,809円で、歳入総額の6%であります。

11款諸収入は893万6,084円で、1項延滞金は保険税の延滞金、3項1目と2目につきましては交通事故の医療費に伴う第三者納付金でございます。次のページをお開きいただきたいと思います。5目の雑入は384万8,035円で、主なものは高額医療費貸付金償還金と特定健康診査個人負担金でございます。

次ページをごらんいただきたいと思います。歳出でございしますが、1款総務費は3,506万885円で、歳出総額の1.4%を占めております。

内訳につきましては、1項1目一般管理費の事務費関連費の経常経費で主なものは電算関係の委託料などがございます。2目連合会負担金は、国保連合会への負担金です。

次ページをお開きいただきたいと思います。2項1目賦課徴収費は、国保税の賦課徴収の電算業務委託料や国保税の納入通知書印刷製本費などがございます。

3項1目運営協議会費は、国民健康保険法第11条に規定する国保運営協議会に関する経費でございます。

4項趣旨普及費は、国保制度の普及啓蒙のための印刷製本費などがございます。

5項収納率向上特別対策事業費は、平成17年度からの事業でありまして、嘱託徴収員1名を雇用して対応しておるところです。

次のページをごらんいただきたいと思います。2款保険給付費は17億3,948万5,289円で、歳入総額の67.9%を占め、前年度より3.9%の減額となりました。

1 項療養諸費は15億7,108万1,344円で、対前年度比3.2%の減となりました。

2 項高額療養費は1億6,006万3,945円で、前年度比6.4%の増でございます。

次ページをお開きいただきたいと思ひます。

4 項出産育児諸費は、15件分の出産育児一時金でございます。

5 項葬祭諸費は、57件の葬祭費でございます。

次に、3 款後期高齢者支援金等は2億9,676万23円で、歳出総額の11.6%を占めており、20年度からの支出で皆増となっております。

4 款老人保健拠出金は5,222万158円で、歳出総額の2%を占めております。1 項1 目老人保健医療費拠出金は5,139万8,732円で、対前年度比85.2%の減となっております。これは、4月からの後期高齢者医療制度の創設に伴ひまして3月分と前々年度の精算によるものでございませぬ。

5 款介護納付金は1億3,170万9,224円で、歳出総額の5.1%を占めており、12.4%の減となっております。

6 款共同事業拠出金は2億4,958万276円で、歳出総額の9.7%を占め、過去の交付実績や被保険者数に応じて高額医療共同事業拠出金を国保連合会に拠出するものでございませぬ。

次のページをお開き願ひます。7 款保健事業費は1,681万6,595円で、歳出総額の0.7%を占め、対前年度に比べまして96.8%の増額となっております。1 項1 目特定健康診査事業費1,439万3,707円は20年度から始まり、皆増となっております。

8 款基金積立金は112万4,584円で、歳出総額の0.04%を占めております。

次のページをごらんいただきたいと思ひます。10 款諸支出金は3,865万9,244円で、歳出総額の1.5%を占め、1 項償還金及び還付加算金は一般及び退職被保険者への過年度保険税過誤納還付金でございます。

2 項貸付金は199万4,000円で、対前年度比49.4%の減でございます。

次のページ、142ページをお開きいただきたいと思ひます。12 款前期高齢者支援金等は39万9,588円で、この支出につきましても20年度に始まりまして皆増でございます。

前に戻っていただきまして13ページをお開きいただきたいと思ひます。次に、平成20年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算の概要についてもご説明申し上げます。歳入合計は、調定額、収入額とも2億7,040万7,553円で、対前年度比91%の減となりました。

次の14ページをお開き願ひます。歳出合計は、支出済額2億8,772万3,305円で、前年度に比べ89.4%の減となりました。この結果、1,731万5,752円の歳入不足が生じました。このため、平成21年度の歳入より繰り上げてこれに充てることとし、専決処分をさせていただきます。6月議会に報告いたしましたところでございませぬ。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げます。

151ページをお開き願ひます。歳入でございますが、1 款支払基金交付金は1億4,986万1,250円で、総額の55.4%を占めております。

1 項1 目医療費交付金は1億4,870万4,250円で、老人医療費の52.4%を支払基金から交付を受けたものでございまして、平成20年3月診療分と月おくれ請求分で前年度比89.3%の減となっております。2 目審査支払手数料交付金は、レセプト点検などに要する経費に交付を受けたものでございませぬ。

2 款国庫支出金は7,316万80円で、歳入総額の27.1%を占めております。

3 款県支出金は2,275万5,534円で、歳入総額の8.4%を占めております。

4 款繰入金は2,391万6,249円で、歳入総額の8.8%を占め、対前年度比89.2%の減となっております。医療費及び事務費として一般会計か

+

ら繰り入れしていただいたものでございます。

次のページをお開きいただきたいと思います。6款諸収入は、第三者行為納付金1件分と返納金でございます。

次に、歳出について説明申し上げます。

次のページ、153ページでございますが、1款総務費は112万8,797円で、事務関係費でございます。歳出総額の0.4%を占めております。

2款医療諸費は2億8,476万1,258円で、歳出総額の99.0%を占め、対前年度に比べ89.4%の減となりました。1項1目医療給付費は医療機関などに診療報酬として支払ったものでございます。2目医療支給費は、柔道整復に係るコルセット等、一時被保険者からお支払いいただいたものでございまして、高額医療分について本人に現金で支払いしているものでございます。3目審査支払い手数料は、レセプトの審査に要した手数料を支払基金並びに国保連合会に支払ったものでございます。

次に、3款諸支出金につきましては60万6,744円で、支払基金への償還金でございます。

次のページをお開きいただきたいと思います。4款前年度繰上充用金につきましては、19年度が歳入不足となったため、20年度から支出したものでございます。

もう一度前に戻っていただきまして27ページをお開きいただきたいと思います。次に、平成20年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入合計の収入済額は2億4,966万2,727円となりました。

次の28ページをお開き願います。歳出合計の支出済額は2億4,512万8,227円となりました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、181ページをお開き願います。

最初に歳入でございますが、1款後期高齢者医療保険料は1億5,908万2,500円で、全体の

63.7%を占めております。

1項1目特別徴収保険料1億976万2,300円で収納率100%、2目普通徴収保険料は4,932万200円で収納率96.7%の収納率でございました。

2款使用料及び手数料は7万1,500円で、1項2目の督促手数料でございます。

3款繰入金は9,038万1,899円で、歳入総額の36.2%を占め、1項1目事務費繰入金1,866万8,347円のうち、山形県後期高齢者医療広域連合負担金分が1,260万6,698円、2目一般会計繰入金7,171万3,552円で、保険料軽減相当分が県が4分の3、市が4分の1の負担割合でございます。

次のページをお開き願います。4款諸収入は12万6,828円で、主なものは2項1目雑入の後期高齢者医療広域連合特別対策補助金でございます。

次に、歳出について説明申し上げます。次ページをごらんいただきたいと思います。

1款総務費は625万3,477円で、歳出総額の2.6%を占め、1項1目一般管理費445万3,420円の主なものは電算業務委託料でございます。2項1目賦課徴収費180万57円についても、主なものは電算業務委託料でございます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金の2億3,887万4,750円は、歳出総額の97.4%を占め、保険料分として1億5,455万4,500円、事務費分として1,260万6,698円、保険基盤安定制度分として7,171万3,552円を後期高齢者医療広域連合に支払ったものでございます。

以上、3件につきましてよろしくご審査の上、ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成20年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の2件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 おはようございます。

平成20年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の11ページをごらんください。初めに、歳入につきましては、収入済額合計が22億9,963万1,445円で、前年度と比較しまして701万4,349円、0.3%の減となっております。調定額に対し、99.4%でございます。

12ページをお開き願います。歳出につきましては支出済額合計が22億9,907万4,383円で、前年度と比較しまして692万5,546円、0.3%の減となっております。これは、主に消費税納税額や公債費などが増加したのに対し、公共下水道事業費の減少などによるものでございます。予算現額に対する執行率は99.9%でございます。歳入歳出差し引き額55万7,062円は翌年度に繰り越しをさせていただきまして、決算といたしたところでございます。

143ページをお開き願います。それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目下水道受益者負担金収入済額は2,844万8,530円で、歳入総額の1.2%となっております。収納率は、現年度分で97.5%、滞納繰越分で17.1%となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料につきましては、収入済額は2億8,773万4,255円で、歳入総額の12.5%となっております。収納率は、現年度分で98.6%、滞納繰越分で42.9%となっております。また、不納欠損額は50件で、85万8,078円が生じております。これは転出後、行方不明などにより時効となったものなど、収入不可能と判断しまして不納欠損処分とさせていただいたものでございます。2目下水道使用料は32万265円で、収納率97.4%であります。

3款国庫支出金、1項1目下水道事業費国庫補助金は、公共下水道事業費補助金、汚水処理

施設整備交付金など1億5,215万円で、歳入総額の6.6%となっております。

次ページをお開き願います。4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は5億6,671万3,000円で、歳入総額の24.6%となっております。

5款繰越金、1項1目繰越金は前年度の繰越金64万5,865円で、6款諸収入、1項1目延滞金は受益者負担金の9万7,680円であります。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては12億6,350万円で、歳入総額の54.9%でございます。

146ページをお開き願います。歳出につきまして、ご説明申し上げます。

1款公共下水道事業費、1項公共下水道事業費につきましては支出済額5億2,001万664円で、予算現額に対する執行率は99.5%となっております。うち、1目公共下水道総務費は7,500万479円で、主なものといたしまして職員人件費のほか、下水道使用料徴収事務及び電算処理業務などの委託料、置広共同処理事務負担金や排水設備等設置改造資金利子補給金、その他関係諸団体の負担金などがございます。147ページをごらんください。2目公共下水道事業費につきましては3億6,398万1,642円で、建設改良に要した経費であります。主な内容といたしましては職員人件費、公共下水道管理センター改築実施設計及び下水道台帳整備業務などの委託料、汚水管路布設工事の請負工事費のほか、148ページ、下水道工事に伴う上水道移転補償費などがございます。なお、請負工事明細につきましては147、148ページの備考欄のとおりでございます。また、平成20年度末における公共・特環エリアの整備状況につきましては、認可面積743ヘクタールに対し、637ヘクタールが完了し、整備率が85.7%となっております。次に、3目管渠管理費は695万3,708円で、汚水管路及び下水道などの維持管理に要した経費でありまして、マンホール補修、下水道取付管補修などの工事

+

請負費等が主な内容でございます。次のページをごらんください。4目管理センター費は7,407万4,835円で処理場運転管理に要した経費でありまして、主な内容といたしましては、汚泥の濃縮及び消臭用の薬品費や処理施設の光熱費、管理センター管理運営業務及び脱水ケーキ処分などの委託料、その他管理センターの管理及び設備機械等の清掃、点検等の委託料でございます。

2款1項公債費につきましては17億7,906万3,719円で、高率の長期債繰り上げ償還のため、前年度と比較しまして1億9,369万3,574円、12.2%の増となっております。1目の元金につきましては14億7,622万5,413円で、長期債償還元金でございます。2目利子は3億283万8,306円で長期債償還利子などがございます。

以上が平成20年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

17ページにお戻りをお願いいたします。続きまして、平成20年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、収入済額合計が1億7,611万5,309円で、前年度と比較いたしまして1,638万6,032円、8.5%減となっております。調定額に対しまして99.2%でございます。

18ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計1億7,554万4,349円で、前年度と比較しまして1,611万954円、8.4%減となっております。予算現額に対する執行率は99.6%でございます。歳入歳出差し引き額57万960円は、翌年度に繰り越しをさせていただきます。決算といたしたところでございます。

157ページをお開き願います。それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金は、収入済額54万円でございます。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料につきましては、収入済額は5,477万9,951円で、今泉地区、大久保地区処理施設使用料でございます。収納率は、現年度分99.3%、滞納繰越分36.3%となったところでございます。また、不納欠損額10件で22万7,273円が生じており、転出後行方不明などにより時効となったものを収入不可能と判断しまして、不納欠損処分とさせていただきます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金は7,290万円で、歳入総額の41.4%となっております。

4款繰越金は、前年度繰越金84万6,038円でございます。

158ページをお開き願います。5款諸収入、3項1目雑入は消費税還付金の49万2,000円で、6款市債、1項1目下水道事業債につきましては4,650万円で、歳入総額の26.4%でございます。

次ページ、歳出につきましてご説明申し上げます。

1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額3,794万6,585円で、予算現額に対する執行率は98.4%でございます。うち、1目農業集落排水事業総務費は1,201万6,219円で、主なものといたしまして職員人件費、各種電算業務委託料、公課費として消費税納付額などがございます。2目今泉排水施設運営費につきましては1,828万6,446円で、処理施設の光熱水費及び修繕料並びに管理運営業務委託料などが主なものでございます。次ページをお開き願います。3目大久保排水施設運営費につきましては764万3,920円で、処理施設の運転管理に要した経費でありまして、処理施設の光熱水費及び管理運営業務委託料、取付柵設置工事などが主なものでございます。

2款1項公債費につきましては1億3,759万7,764円で、高率の長期債繰上償還を実施いた

しましたが、実施額が前年度より減少し、対前年度比1,419万1,065円で9.3%減でございます。1目元金につきましては9,533万1,185円で、長期債償還金及び繰上償還元金でございます。2目利子につきましては4,226万6,579円で、長期債償還利子などがございます。

以上が平成20年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出の決算の概要でございます。よろしくご認定賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算及び平成20年度長井市定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算の2件について。

遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 平成20年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の15ページをお開きください。まず、歳入合計でございますが、収入済額は、予算現額と比較いたしまして630万9,897円減の1億4,177万103円で、前年度対比2,288万2,055円、約19.2%の増となっております。

次ページ、16ページをごらんください。次に、歳出合計でございますが、支出済額は、予算現額に対し不用額が630万9,897円で、1億4,177万103円となり、前年度対比2,288万2,055円、約19.2%の増となっております。なお、歳入歳出同額でございます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

155ページをごらんください。歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目山形鉄道運営助成費負担金につきましては収入済額4,398万円で、歳入総額の約31.0%を占めております。県及び沿線自治体の財政支援に基づきものでございます。

2款財産収入、1項1目利子及び配当金につきましては、収入済額107万103円で、基金運用

による利子でございます。

3款繰入金につきましては、収入済額8,672万円で、歳入総額の約61.2%を占めております。1項1目の一般会計繰入金1,602万円は、長井市の山形鉄道運営助成費負担金を一般会計から繰り入れたものでございます。2項1目基金繰入金7,070万円は、山形鉄道運営助成費相当額を基金より繰り入れたものでございます。

4款諸収入、1項1目貸付金元利収入につきましては、収入済額1,000万円で、歳入総額の約7.1%を占めており、山形鉄道株式会社への貸付金の返済金でございます。

次に、156ページをお開きください。1款山形鉄道助成費、1項1目運営助成費につきましては、支出済額7,070万円で、歳出総額の約49.9%を占めており、県及びフラワー長井線沿線の自治体の財政支援の方針に基づき助成したものでございます。

2款基金積立金につきましては、支出済額6,107万103円で、歳出総額の約43.1%を占めており、自治体よりの負担金4,398万円、長井市一般会計よりの繰入金1,602万円、基金の運用利子107万103円を積み立てたものでございます。

3款基金繰出金につきましては、支出済額1,000万円で、歳出総額の約7.1%を占めており、山形鉄道株式会社からの返済金を基金に戻したものでございます。

以上が平成20年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成20年度長井市定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

決算書の29ページをお開きください。この事業につきましては、平成20年度国庫補助の定額給付金給付事業費補助金、定額給付金給付事務費補助金を明許繰越により21年度まで継続して行っておるものでございますが、20年度執行分の決算についてご説明させていただきます。

+

まず、歳入合計でございますが、1款1項国庫補助金の収入済額は、予算現額4億9,095万2,000円と比較いたしまして、201万6,000円減の4億8,893万6,000円となっております。

次のページをお開きください。歳出でございますが、支出済額は1項定額給付金給付事務費843万8,393円、2項定額給付金給付事業費2億6,645万2,000円で、合計2億7,489万393円となっております。なお、2億1,590万3,000円を明許繰越とさせていただきます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。185ページをお開きください。

まず、歳入でございますが、1款国庫支出金、1項1目給付事務費国庫補助金につきましては、収入済額1,580万円となっております。1款1項2目給付事業費国庫補助金につきましては、収入済額が4億7,313万6,000円となっております。

次に、歳出についてご説明申し上げます。次ページ、186ページをお開きください。

1款1項1目定額給付金給付事務費につきましては、定額給付金の申請書発送郵券代などで、支出済額843万8,393円となっております。なお、921万9,000円を明許繰越といたしております。

2款1項1目定額給付金給付事業費につきましては、定額給付金給付済みの分として支出済額2億6,645万2,000円となっております。また、2億668万4,000円を明許繰越といたしております。

以上が平成20年度長井市定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

中井 晃健康課長。

○中井 晃健康課長 平成20年度長井市訪問看護

事業特別会計の決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の19ページをお開きください。初めに、歳入でございますが、収入済額合計は1,781万8,804円ございました。収入の内訳といたしましては療養費交付金、利用料、繰越金、雑入、一般会計繰入金でございます。

20ページをお開きください。歳出といたしましては、事業費としての支出が1,771万9,178円ございました。歳入歳出の差し引き残額9万9,626円を翌年度に繰り越しさせていただきました。

次に、事項別明細によりご説明申し上げます。

161ページをお開きください。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,159万8,339円ございまして、19年度と比較いたしまして87万4,775円、7.0%の減となりました。内訳といたしましては、介護分849万6,149円、医療分310万2,190円ございました。訪問の延べ回数は年間で1,488回ございました。こちらの方は、19年度と比較いたしまして68回の減少でございます。

2款1項1目利用料は149万5,741円ございまして、内訳は介護保険の利用者の1割負担分と保険外の交通費分でございます。こちらの方は、19年度と比較いたしまして30万1,235円、25.2%の増でございました。

4款諸収入、1項1目雑入は150円ございまして、これは国保の協力金でございます。

5款繰入金、1項1目一般会計繰入金は460万円で、19年度と比較いたしまして40万9,996円の増加でございました。

次に、歳出につきましてご説明申し上げます。162ページをお開きください。

1款1項事業費、1目訪問看護事業費につきましては1,771万9,178円でございますが、その内訳は2節、3節、4節につきましては職員2

名分の給料に係る費用でございます。7節の賃金280万1,500円につきましては、定時補助職員及びパートの看護師4名の雇い上げ賃金分でございます。11節需用費35万1,927円は車の修繕費、医療材料費、消耗品費でございます。12節役務費39万7,011円は電話料、訪問看護サービス情報公開手数料、看護時の衣服のクリーニング手数料等でございます。13節委託料5万4,000円、14節使用料及び賃借料の28万3,022円につきましては、訪問看護の請求事務並びに患者情報等に利用しております訪問看護支援ソフトのリース料及びシステム保守管理料の費用でございます。19節負担金補助及び交付金1万円は、山形県内の訪問看護ステーションで組織しております訪問看護ステーション連絡協議会の年会費等でございます。27節公課費につきましては1万7,600円でございますが、これは訪問看護時に使用いたしました軽自動車2台の重量税でございます。

以上、平成20年度長井市訪問看護事業特別会計決算の概要につきまして説明を申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願いを申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。船山祐子福祉事務所長。

○船山祐子福祉事務所長 平成20年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の21ページをお開きください。歳入合計は、前年度比2.3%増の24億8,102万8,127円で、調定額に対する収入率は99.4%となっております。

次に、22ページをお開きください。歳出合計でございますが、前年度比0.9%増の23億9,706万5,009円でございます。歳入歳出差し引き残額8,396万3,118円は、平成21年度に繰り越しをいたすものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、163ページ、介護歳入1をお開きください。

初めに、歳入でございますが、1款介護保険料は調定額4億5,785万969円、収入済額4億4,292万8,380円で、調定額に対する収納率は96.7%で、歳入総額の19%を占めております。

2款使用料及び手数料は6万5,560円で、介護保険料の督促手数料でございます。

3款国庫支出金は5億9,834万3,310円で、歳入総額の24.1%を占めております。1項国庫負担金は3億9,650万6,815円で、保険給付費に対する国の法定負担分でございます。2項国庫補助金は2億183万6,495円で、高齢者の割合などに応じて交付を受けた調整交付金と地域支援事業交付金、介護保険事業費補助金及び介護従事者の処遇改善を図るために平成21年度の介護報酬改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため、特例基金を設置することを目的として国から交付されました介護従事者処遇改善臨時特例交付金でございます。

次のページをお開きください。4款支払基金交付金は7億1,367万9,281円で、歳入総額の28.8%を占めており、保険給付費及び地域支援事業費に対する2号被保険者の法定負担分として社会保険診療報酬支払基金から交付を受けたものでございます。

5款県支出金は3億4,828万5,291円で、歳入総額の14%を占めており、1項県負担金は3億3,587万9,239円で、保険給付費に対する県の法定負担分でございます。2項県補助金は1,240万6,052円で、地域支援事業費に対する県の法定負担分として交付を受けたものでございます。

6款財産収入は44万1,902円で、介護給付費準備基金積立金に対する利子収入でございます。

7款繰入金は3億2,871万8,390円で、歳入総額の13.2%を占めております。1項1目介護給付費繰入金2億7,876万9,315円は保険給付費に

+

対する市の法定負担分として、2目地域支援事業繰入金1,230万2,300円は地域支援事業費に対する法定負担分として、3目その他一般会計繰入金3,764万6,775円は総務管理費、賦課徴収費などの事務経費として繰り入れしていただいております。

8款諸収入は11万580円でございます。1項延滞金、加算金及び過料は3万2,500円で、1号被保険者の介護保険料の延滞金でございます。2項雑入は7万8,080円で、地域支援事業の配食サービス等の利用者負担金でございます。

次のページをお開きください。9款繰越金は4,845万5,433円でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

次のページ、介護歳出1をお開きください。

1款総務費は3,764万6,775円で、前年度と比較いたしまして9.6%の増でございます。1項総務管理費は1,841万7,413円で、介護保険の電算業務などの一般事務経費でございます。2項徴収費は41万1,253円で、保険料の賦課徴収費でございます。3項介護認定審査会費は1,863万666円で、要介護認定審査会時の報酬、認定調査、主治医意見書作成などの事務経費でございます。

次のページをお開きください。4項趣旨普及費は7,643円、5項地域ケア包括会議費は17万9,800円で、地域密着型サービス事業所の指定あるいは介護保険事業計画等についてご審議していただいたものでございます。

2款保険給付費は22億3,015万4,519円で、歳出総額の93%を占めており、前年比2.1%の増となっております。1項介護サービス等諸費は19億5,737万2,614円で、要介護1から要介護5の要介護認定受給者の在宅及び施設サービスに対する保険給付費でございます。2項介護予防サービス等諸費は1億5,839万2,632円で、要支援1、要支援2の要支援認定受給者の保険給付費でございます。3項その他諸費289万2,170円

は、現物給付に係る支払い審査手数料でございます。

介護歳出3をごらんください。4項高額介護サービス等費は3,159万7,667円で、3,319件支給しております。5項特別短期入所サービス費はゼロ円でございます。6項特定入所者介護サービス等費は7,989万9,436円で、施設サービス利用時の居住費、食費負担等低所得者の軽減を補てんするための給付でございます。

3款財政安定化基金拠出金は125万7,207円で、山形県介護保険財政安定化基金へ拠出したものでございます。

4款地域支援事業費は7,454万9,101円で、介護予防の推進や地域における包括的、継続的なケアマネジメント機能を強化するための事業費でございます。1項介護予防事業費は3,592万8,606円で、足腰若がえり教室などの特定高齢者あるいはミニデイサービス事業などの一般高齢者を対象とした介護予防事業でございます。

介護歳出5をごらんください。2項包括的支援事業・任意事業費は3,862万495円で、介護状態にならないようにするための予防プランの作成、権利擁護を始めとする総合相談や任意事業として長井市独自の生活支援事業などがございます。

次のページをお開きください。5款基金積立金は4,226万679円で、介護給付費準備基金に2,259万4,000円を、介護従事者処遇改善臨時特例基金に1,966万6,679円を積み立てたものでございます。

6款諸支出金は1,119万6,728円で、保険料の過年度還付金及び介護給付費負担金の精算による返還金でございます。

以上、長井市介護保険特別会計決算の概要についてご説明申し上げます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算につい

て。

鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 私から平成20年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、戻りまして23ページをお開きいただきます。歳入でございますが、収入済額は予算現額と比較いたしまして1万3,211円増の1億327万4,211円で、前年度と比較いたしまして775万310円、8.1%の増でございます。

次のページをお開き願います。歳出でございますが、支出済額は予算現額と比較いたしまして49万2,574円減の1億276万8,426円で、前年度と比較し775万1,666円、8.1%の増でございます。歳入歳出差し引き額50万5,785円は翌年度に繰り越しをさせていただきます、決算といたしたところでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げますので、175ページをお開き願います。歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項浄化槽事業費は1,066万2,500円で、収納率は100%となっております。

2款1項使用料及び手数料につきましては、収入済額1,249万3,270円で、収納率は99.5%となっております。

3款国庫支出金、1項国庫補助金は2,069万7,000円で、歳入総額の20%となっております。

4款繰入金、1項一般会計繰入金は559万9,000円で、歳入総額の5.4%となっております。

176ページをお開きください。5款繰越金につきましては50万7,141円で、前年度の繰越金でございます。

6款諸収入、3項雑入は171万5,300円で、消費税還付金でございます。

7款市債、1項市債は5,160万円で、歳入総額の50%でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

177ページをごらんください。1款1項浄化

槽事業費につきましては、1目浄化槽総務費で浄化槽管理基数増加による検査手数料、保守点検委託料の増加、2目浄化槽事業費で平成20年度設置基数増加に伴う工事費の増加などにより1億2万1,678円となりました。平成20年度末までの実績基数は合計で246基でございます。

2款1項公債費につきましては、支出済額274万6,748円で、長期債償還利子でございます。

以上、平成20年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 次に、認第1号の平成20年度長井市用地特別会計歳入歳出決算について。

平 英一財政課長。

○平 英一財政課長 平成20年度長井市用地特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

決算書の25ページをお開きください。歳入の収入済額は、予算現額と比較いたしまして800円減の421万1,200円で、前年度と同額となっております。

26ページをお開きください。次に、歳出でございますが、支出済額は予算現額と比較いたしまして800円減の421万1,200円で、歳入歳出同額となっております。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、179ページをお開き願います。

歳入1款1項一般会計繰入金は、平成17年度に運動公園整備事業用地取得の財源として借り入れました土地開発公社経営健全化対策債3億80万円の償還金利子の財源として一般会計から繰り入れたものでございまして、421万1,200円となっております。

180ページをお開き願います。歳出でございますが、1款1項公債費はただいま申し上げました土地開発公社経営健全化対策債3億80万円の20年度分償還金利子でございまして、421万

+

1,200円となっております。

以上が用地特別会計の決算概要でございます。よろしくご認定賜りますよう、お願い申し上げます。

○蒲生吉夫委員長 ここで、昼食のため暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午前11時55分 休憩

午後1時00分 再開

○蒲生吉夫委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

認第2号 平成20年度長井市水道事業会計決算認定について

+

○蒲生吉夫委員長 それでは、認第2号 平成20年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 認第2号 平成20年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書213ページ、水道1をお開き願います。以降、ページ数につきましては左下の水道ページで申し上げます。決算報告書でございますが、予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載しております。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益は、予算額6億6,951万8,000円に対し、決算額は6億6,176万6,723円となり、775万1,277円の減となっております。

一方、支出の第1款水道事業費用は、予算額6億3,886万9,000円に対し、決算額は6億3,410万8,763円となり、476万237円の不用額となりました。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入は、予算額5億4,694万5,000円に対し、決算額は5億4,588万5,950円となり、105万9,050円の減となっております。

水道3ページをごらんください。支出でございますが、第1款資本的支出は、予算額10億6,930万1,000円に対し、決算額は10億5,484万9,459円となり、1,445万1,541円の不用額となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額5億896万3,509円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに過年度分損益勘定留保資金をもって補てんさせていただいたものでございます。

続いて、水道4ページをお開き願います。損益計算書により経営状況についてご説明申し上げます。なお、詳細につきましては、後ほど収益費用明細書にてご説明申し上げます。

初めに、営業収益でございますが6億2,756万9,682円で、加入金やその他営業収益などの増収に対し、給水収益や他会計繰入金が減収したことにより対前年度比1,479万9,699円、2.3%の減となりました。

営業費用につきましては4億9,399万1,002円で、主に浄水及び配給水費で減少になりましたが、業務及び総係費や資産減耗費などの増加により対前年度比779万5,573円、1.6%の増となりました。

結果、営業利益につきましては1億3,357万8,680円で、前年度対比2,259万5,272円、14.5%の減でございます。

次に、5ページの営業外収益は前年度より76万6,583円の減の315万7,167円となり、営業外費用は前年度より1,300万7,078円の減の1億

+

3,079万1,869円となりました。

経常利益につきましては、前年度より1,035万4,777円、63.5%減の594万3,978円となりました。なお、経常収支比率は101.0%で、前年度より1.6ポイントダウンとなっております。

次に、特別利益は2,887円、特別損失は308万5,187円でございます。

以上の結果、特別利益、特別損失を含めた当年度純利益につきましては286万1,078円となり、前年度と比べ1,087万7,980円、79.2%減となりましたが、黒字決算で終了いたすことができました。また、当年度未処分利益剰余金については1,689万5,539円となったところでございます。

水道9ページをお開き願います。ただいまの損益計算書で申し上げました当年度未処分利益剰余金の処分案でございます。減債積立金に20万円を積み立てまして、翌年度繰越利益剰余金を1,669万5,539円といたす案でございます。

次に、水道10ページをお開き願います。貸借対照表により財産状況についてご説明申し上げます。

初めに、資産の部でございますが、固定資産合計は78億3,099万8,470円で、前年度と比べ4億194万4,942円、5.4%増となっております。内訳でございますが、建物は減価償却分約556万円の減、構築物は約5,907万円の増、機械及び装置は約6,271万円の減、長井ダム関連及び清水町浄配水場の建設仮勘定については約4億1,042万円の増など、投資につきましては地方公営企業等金融機構への出資金でございます。なお、固定資産の明細は水道50ページに記載してありますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、流動資産は合計6億8,557万5,782円で、前年度より2億9,067万9,189円、29.8%減となっております。これは現金及び預金で公的資金補償金繰り上げ償還及び清水町浄配水場更新工事費や配水施設工事費などに充当し、約3億

141万円の減、営業未収金で331万円の減に対し、営業外未収金で約895万円、その他未収金で約516万円などが増加したことによるものでございます。なお、営業未収金は3条未収金でございますが、このうち水道料金については約2,111万円でございます。

固定資産合計に流動資産合計を加えた資産合計につきましては、85億1,657万4,252円でございます。

次に負債の部、流動負債でございますが、合計4,430万9,774円で、前年度対比9,087万1,656円、67.2%減となっております。営業未払い金の主なものとしては施設管理業務委託料約322万円、電算業務委託料約492万円などでございます。その他の未収金は、主に清水町浄配水場更新事業管理業務委託料の約683万円などで、預かり金はほとんどが下水道使用料でございます。

なお、流動資産と流動負債の対比である支払い能力を示す流動比率は前年度対比825.0ポイントアップの1,547.2%であります。

次に資本の部、資本金でございますが、自己資本金は一般会計からの長井ダムの出資金で約1,234万円の増、借入資本金は建設改良に要する企業債で約9,881万円の増で、資本金合計は59億3,259万7,193円で、前年度対比1億1,114万8,283円、1.9%の増であります。なお、企業債につきましては水道33ページに概況、水道51ページから明細を記載してありますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、水道12ページをお開き願います。剰余金でございますが、資本剰余金合計は23億3,677万1,746円で前年度より8,812万8,048円、3.9%増となりました。主な内容ですが、水道水源開発事業や石綿セメント管更新事業などに伴う国庫補助金が約7,075万円の増、工事負担金が約129万円の増、その他資本剰余金として公共下水道事業に伴う配水管布設替工事補償費

+

などを約1,609万円の増等々でございます。

次に、利益剰余金でございますが、合計2億289万5,539円で、前年度対比286万1,078円、1.4%の増となりました。内訳といたしまして減債積立金が500万円の増、建築改良積立金は前年度と同額、当年度分未処分利益剰余金が約214万円の減でございます。

資本金に剰余金を加えた資本合計は84億7,226万4,478円で、流動負債を加えた負債資本合計は85億1,657万4,252円で、前年度対比1億1,126万5,753円で1.3%の増となっております。先ほどの資本合計とただいまの負債資本合計は85億1,657万4,252円で一致いたしております。なお、経営分析、財務分析などについては水道37ページから40ページに記載してございますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、水道41ページをお開き願います。収益費用明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収益でございますが、1款水道事業収益の総額は6億3,072万9,136円、前年度対比1,556万3,995円、2.4%減でございます。

1款1項営業収益につきましては6億2,756万9,682円で、前年度対比1,479万9,699円、2.3%の減となりました。内訳でございますが、営業収益の95.7%を占める1目給水収益は6億371万6,820円で、前年度より1,402万7,096円、2.3%の減収となりました。これは、主に給水人口の減少、節水型衛生機器の発展普及とともに使用者の節水意識も高まり、水需要が減少したものととらえているところでございます。なお、給水状況につきましては、附属書類として水道28ページから30ページに記載してございますので、ご参照お願いいたします。2目加入金は782万円。3目受託工事収益については、山形県事業に伴う受託工事収益でございます。4目その他営業収益については1,303万2,312円で、各種委託料や消火栓移設及び修繕などの一般会計からの負担金、次ページ、受託金で下水道使

用料収納業務受託料及び農集使用料検針電算業務受託料などを、雑収益としてボトルドウォーター販売収益がございます。5目他会計繰入金につきましては、公共下水道工事に伴う給水管布設替工事費の246万8,550円でございます。

次に、2項営業外収益でございますが、受取利息、雑収益、県補助金合わせて315万7,167円で、3項特別利益は消費税還付加算金でございます。

43ページをごらんください。収益に対する費用でございますが、1款水道事業費用の総額は6億2,786万8,058円で、前年度対比468万6,015円、0.7%の減となりました。

1項営業費用につきましては4億9,399万、1,002円、前年度対比779万5,573円、1.6%増となりました。内訳につきましては、1目浄水及び配給水費は1億3,862万7,116円で、前年度より451万5,601円の減となり、職員人件費のほか各施設の管理業務、配給水管台帳作成などの委託料や配水施設などの修繕費、次のページ、下水道工事に伴う給配水管布設替工事費、各浄水場・中継場などの動力費などの費用でございます。2目受託工事費は53万2,000円で、受託工事収益と相賄う費用でございます。3目業務及び総係費は7,688万8,850円で、前年度に比べ674万7,568円の増でございます。これは事業経営に関する経常費用でございまして、主なものとして職員人件費、電算業務委託料・会計システム機器の賃借料などでございます。水道46ページをお開き願います。4目減価償却費は2億5,756万22円で、営業費用の52.1%を占め、前年度より128万8,464円の増で、5目資産減耗費は2,038万8,014円、前年度より415万577円の増となりました。

2項営業外費用につきましては、企業債の支払いリスク及び雑支出合わせて1億3,079万1,869円でございます。高率の公営企業債の公的資金補償繰り上げ償還により支払いリスクが

軽減され、前年度対比1,300万7,078円の減となりました。

3項特別損失については、冬期水道料金精算還付金、不納欠損処分金など308万5,187円でございます。なお、この欠損処分につきましては平成12年度から15年度分の61件で、転出後所在不明、会社倒産、自己破産など時効になったもので回収不能と判断いたしまして、不納欠損処分させていただいたものでございます。

次に、47ページをごらんください。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収入でございますが、第1款資本的収入の総額は5億4,588万5,950円で、前年度対比1億2,374万5,900円、29.3%の増となりました。

内訳につきましては、1項企業債は、備考欄の各事業費に充てられたもので4億3,610万円、前年度より1億180万円の増。

2項分担金及び負担金は、消火栓設置工事に伴う一般会計負担金で204万7,500円。

3項国庫補助金は、長井ダムへの補助金及び石綿セメント管更新事業補助金で7,850万7,000円、前年度より2,558万1,000円の増。

4項その他の補償金は、公共下水道事業に伴う配水管布設替工事費など1,689万3,450円。

5項出資金は1,233万8,000円で、地方公営企業法の繰り出し基準に基づき一般会計から繰り入れさせていただいたものでございます。

水道48ページをお開き願います。支出でございますが、第1款資本的支出の総額は10億2,186万2,219円で、前年度より2億3,132万5,962円、29.3%の増となりました。

内訳につきましては、1項1目事務費は建設に関する職員人件費などでございます。2目第4次拡張事業費は5億4,702万5,469円で、前年度より1億8,858万3,407円の増でございます。内容につきましては、清水町浄配水場更新事業及び石綿セメント管更新事業など、実施いたし

たものでございます。なお、清水町浄配水場更新事業につきましては、本年3月から一部完成施設の稼働を開始しております。また、石綿セメント管更新事業については20年度末において計画更新総延長29.6キロメートルのうち、約24.7キロメートルが完成し、進捗率で83.6%に達しております。49ページをごらんください。

3目水源開発費は3,762万2,637円で、長井ダム使用権に係る負担金及び企業債利息でございます。4目配水施設整備費は6,290万6,407円で、前年度より3,842万5,938円の増でございます。単独の配水管布設工事費、そのほか県及び市の事業に伴う配給水管布設替工事費などでございます。5目資産購入費は1,867万4,660円で、量水器の購入、平山浄水場の継電器設置及び平山浄水場時庭系送水電磁流量計の交換などです。

次に、2項1目企業債償還金につきましては、3億3,728万9,717円で、前年度対比214万143円の減となりました。

3項1目出資金は地方公営企業等金融機構への出資金100万円でございます。

ただいま支出で説明申し上げました建設改良や資産購入費などの明細書につきましては、水道18ページから24ページまでに記載してありますので、ご参照いただきたいと思います。

以上、平成20年度長井市水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご認定賜りますようお願い申し上げます。

平成20年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○蒲生吉夫委員長 以上で概要の説明が終わりました。

これより質疑を行います。